

平成30年度 重症心身障害児(者) 対応介護従事者養成研修

1 研修の目的

重症心身障害児(者)一人ひとりの特性や意向を踏まえて適時適切な支援ができる介護・福祉の専門人材を県内各地域に増やしていくため、介護の手法等について理解を深めるとともに、今後の業務に役立てられるよう、参加者同士が情報・意見交換等を行う場を設け、横のつながりを作る。

2 研修の日程

第1日目 講義等 【平成30年10月19日(金)】

第2日目 現場実習[以下の施設ごとに10月(19日以降)～11月に日程を設定する]

3 研修場所

(1) 講義等 「静岡県男女共同参画センター あざれあ」 5F 501会議室

(2) 実習

療養介護・医療型障害児入所「伊豆医療福祉センター」(伊豆の国市)

生活介護事業所「ミルキーウェイ」(沼津市)

生活介護事業所「でら〜と」「あそ〜と」(富士市)「らぼ〜と」(富士宮市)

生活介護事業所「清水なぎさホーム」(静岡市清水区)

指定医療機関「国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター」(静岡市葵区)

療養介護・医療型障害児入所「つばさ静岡」(静岡市葵区)

生活介護事業所「わかふじ」(藤枝市)

生活介護事業所「ぴのほーぷ」(掛川市)

生活介護事業所「あにまあと」(磐田市)

指定医療機関「国立病院機構天竜病院」(浜松市浜北区)

生活介護事業所「ふれんず」(浜松市浜北区)

4 対象者

重症児(者)を現に介護している、または今後介護を予定・検討している方、及び重症児(者)関連事業所に勤務する福祉・介護職員及びホームヘルパー等

5 研修内容

(1) 講義等

①重症児(者)を支える介護の専門性～在宅生活における介護の特性と役割～

②重症児(者)の介護に必要な医療的な理解～医療的ケアの意義と課題について～

③重症児(者)の活動を支える介護の視点と連携の意義～重症児(者)の活動支援の現場から～

④〈事例研究〉重症児(者)の在宅生活を支える介護～事例をとおして～

⑤(事例をとおして)在宅生活を支える介護の意義と役割を考える～グループワーク～

(2) 実習

①重症児(者)の介護の特性

②重症児(者)とのコミュニケーションの視点

③重症児(者)のための介護の方法とポイント

④質疑応答ほか

6 スケジュール

(1)第1日目 講義等 [平成30年10月19日(金)]

全体テーマ：『重症児(者)の在宅生活を支える〈介護〉の視点と専門性』

時間	項目	テーマ及び講師等
9:00~9:30	受付	
9:30~9:40	オリエンテーション	
9:40~10:50 (質疑10分含む)	講義 ①	「重症児(者)を支える介護の専門性 ～在宅生活における介護の特性と役割～」 講師/土屋正樹 (福)イカふじでんこ社管理職)
11:00~12:10 (質疑10分含む)	講義 ②	「重症児(者)の介護に必要な医療的な理解 ～医療的ケアの意義と課題について～」 講師/関根裕司(魁こども院 総合課長)
12:10~13:10	昼休憩	実習先別にオリエンテーション 終了後、お昼休憩
13:10~14:20 (質疑10分含む)	講義 ③	「重症児(者)の活動を支える介護の視点と連携の意義 ～重症児(者)の活動支援の現場から～」 講師/松下剛己 (福)和松 生活介護事業所のほろ 施設長)
14:30~15:20	演習 ①	事例研究 「重症児(者)の在宅生活を支える介護～事例をとおして～」 講師/藤田よしみ (福)慶会 ライックの園生活介護事業所 サービス管理職)
15:20~16:10	演習 ②	グループワーク(事例をとおして) 「在宅生活を支える介護の意義と役割を考える」 進行/高橋和己 (福)福絵 はまの施設長)
16:10~16:30	総括	講師等のコメント
	終了	連絡事項

(2)第2日目 実習 [施設ごとに受講希望者数に応じて実習日を設定する]

7 研修教材・資料

各講義の資料は、当日配布。実習は、各実施事業所において適宜配布。

8 受講料(実習を含む 実習時には「全国社会福祉協議会 ボランティア行事用保険」に加入していただきます。手続きは、事務局が致します。)

3,000円 (当日、受付にて徴収。お釣りのないようにご協力ください。)

9 申し込み、締め切り

別紙1 平成30年度 重症心身障害児(者)対応介護従事者養成研修参加申し込み書に記入の上、FAXでお申し込みください。 **締め切り 平成30年 9月10日(月)**

本研修に関する問い合わせ先 (本研修業務委託先)

社会福祉法人小羊学園 つばさ静岡

所在地: 〒420-0805 静岡市葵区城北117

電話: 054-249-2833 FAX: 054-249-2831

E-mail: soudan-tubasa@wind.tnc.ne.jp

担当: 植松、北尾(アグネス静岡)